

尼 崎

ものづくりの魅力発信 中学生が企業を見学

尼崎商工会議所（兵庫県）などで構成する次世代の産業人材育成事業実行委員会は8月22日、「オープンファクトリー2024 in 尼崎」を開催した。当日は市内の中学生33人が参加し「通常コース」と「特別コース」に分かれ、見学を行った。通常コースでは印刷会社2社を見学し、事業概要や力を入れている

部分の説明を受けた後、紙の裁断や検品作業を体験した。特別コースでは、自動車販売会社の整備工場を見学し、水素自動車の仕組みなどを学んだ後、タイヤ交換やエンジンオイルの点検を体験した。参加した中学生は「実際の仕事の一部を体験でき、非常に勉強になった」と好評だ。「実際の仕事の一段の生活では見ることができない工程を見ることができて良かった」。

や企業の強みを記入し、企業への理解を深めた。生徒からは「普段の生活では見ることができない工程を見ることができて良かった」。



印刷工程を見学する中学生たち

同イベントは尼崎市内の中学1～3年生を対象に、地域のものづくり企業を知ってもらおうと2017年より実施。同市の基幹産業であるものづくり企業の製品力、技術力を間近で見学することで仕

事に魅力を感じてもらい、将来就職する職業の選択肢を広げてもらうことを期待している。また、企業側にも体験プログラムや当日の運営を通して

向上につながる効果を見込んでいる。

同所担当者は「今回は当初の募集人数を大きく上回る応募がありこれまでと比較し、ものづくりに対する興味・関心や事業認知度が高まったと感じた。同所では、中学生を対象とした『次世代の企業人育成事業』などを実施している。今後も市内の学生に事業への参加を通じて、気付きや発見を感じてもらい『ものづくりの町 尼崎』をさらに学んでもらえるよう、さまざまな事業を実施していきたい」と述べた。